

「入浴関連死予防ステッカー」配布について

毎年、名取市内では、お風呂で救急事案が40件ほど発生しており、そのうち10件以上、心肺停止で発見されています。名取市内の年間交通事故死1~2名に比べ多い数です。寒暖差によるヒートショックによりお風呂で意識を失い、おぼれて命を落としたと思われる方もいます。

そこで名取市では、全世帯に「入浴関連死予防ステッカー」を配布します。お風呂内や脱衣所、洗面所等の家族が目に付く所に貼り付け以下の6つの注意点を全員で意識することにより、大切な人の命を救うことが出来ます。

1. お湯の温度は41度以下にしましょう。（39°C～41°Cが適温）
2. 脱衣所と浴室の温度格差を少なくしましょう。
(冬期間には脱衣時、浴室のドアを開ける等の工夫を)
3. 飲酒や服薬後の入浴は控え、できれば食前に入りましょう。
4. 急に立ち上がりらず、半身浴して上がりましょう。
5. 高齢者が入浴している時は、家族や周囲の人が声掛けするようになります。
6. 意識がないのを発見したら、まず水を抜き119番通報し指示を受けましょう。